

科目ナンバー	HOE-2-001-j			科目名	こどもと家族		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	男女共同参画、少子高齢化といった社会の流れの中で、家族のあり方が問われています。その背景には、社会の個人化による人間の自己生成の問題が関わっています。そこで授業では、家族と家族をとりまく社会システムの変化の連動性に着目することで、家族にまつわる価値観や生活スタイルについて再検討します。さらに、青年期において「親になること」を捉え直し、人間の存在や自己生成と他者との関係性から「大人になること」「他者との共生」について考えます。授業では理論的考察としては複雑で難しい内容ですが、映像教材を多用しながら楽しく考えたいと思います。						
到達目標	近代家族の変容を社会構造の変化から理解する。家族を捉え直し、自己生成と他者との関係性から、社会を構成する主体として共生に必要な課題を明確にできる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	テーマによって、グループに分かれてディスカッションを行い、意見をまとめて発表します。さまざまな意見を踏まえて、レポートを作成します。 本授業では、グループワーク及び発表、個人レポートの提出を行います。課題に対しては適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	前提条件は特にありません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点20%、レポート30%、期末課題レポート50% 平常点ではコミュニケーション力、小レポートでは自律する力、最終レポートでは識見としての課題理解度を総合的に評価します。						
教材	『共愛学園前橋国際大学ブックレットV 大人になることのレッスン』						
参考図書	本田由紀『社会を結びなおす』岩波ブックレット、高橋勝・後藤さゆり・他『子ども・若者の自己形成空間—教育人間学の視線から』東信堂、アンソニー・ギデンズ『モダニティと自己アイデンティティ—後期近代における自己と社会』ハーベスト社、川本隆史『共生から』岩波書店、千田有紀『日本型近代家族』勁草書房、柏木恵子『家族心理学』東京大学出版会、山極寿一『家族進化論』東京大学出版会、本田和子『子どもが忌避される時代』新曜社、岡本智周・他『共生と希望の教育学』筑波大学出版会、三上剛史『社会の思考』学文社、柏木恵子『子育て支援を考える』岩波ブックレット、藤崎宏子『親と子 シリーズ家族2』ミネルヴァ書房、岩上真珠『家族』有斐閣コンパクト、小長谷有紀編『家族のデザイン』東信堂、諸富祥彦『明治大学で教える「婚育」の授業』青春出版、						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス?授業の概要と進め方?						
授業外学修内容	授業資料を確認する					時間数	2
2週目							
授業学修内容	子どもが育つ環境としての家族(VTR)(グループディスカッション)						
授業外学修内容	近代家族の変容に関する課題資料にあたる					時間数	2
3週目							
授業学修内容	家族イメージの検討家族をどう捉えるか(グループディスカッション)小レポートを提出する						
授業外学修内容	近代家族の変容に関する資料にあたる					時間数	2
4週目							
授業学修内容	環境と家族1—近代化と家族 大家族の島から—(VTR)						
授業外学修内							

容	近代家族の変容に関するレポートの作成	時間数	2
5週目			
授業学修内容	環境と家族2—子どもの問題行動と家族・子供部屋論争—(グループディスカッション)		
授業外学修内容	近代家族の変容に関するレポートを完成させ、次回提出。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	親になるということ1「大人になること」と「親になること」レポートを提出する		
授業外学修内容	テキスト第1・2・3章を読み、章末問題をレポートにまとめる。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	親になるということ2自己決定と他者1(VTR)章末課題を提出する。		
授業外学修内容	資料を読み、意見をまとめる。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	親になるということ3—“I am Sam”から考える「親になること」—(VTR)小レポートを提出する。		
授業外学修内容	テキスト第4・5・6章を読み、章末問題をレポートにまとめる。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	親になるということ4—“I am Sam”から考える「他者との共生と親になること」(グループディスカッション)		
授業外学修内容	テキスト第7章を読む。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	家族と生きる1「世話をされる」関係の人間学的意味「トイレット」を手掛かりに—(VTR)		
授業外学修内容	他者との共生に関する課題資料にあたる	時間数	2
11週目			
授業学修内容	家族と生きる2「世話をされる」関係の人間学的意味「トイレット」を手掛かりに—(グループディスカッション)		
授業外学修内容	グループディスカッションの小レポートを作成する他者との共生に関する課題資料にあたる	時間数	2
12週目			
授業学修内容	親になるということ5自己決定と他者2		
授業外学修内容	他者との共生に関する課題レポートを作成する	時間数	2
13週目			
授業学修内容	家族と生きる1「世話をされる」関係の人間学的意味「私は2歳」を手掛かりに(VTR)		
授業外学修内容	他者との共生に関する課題レポートを完成させ、次回提出する	時間数	3
14週目			
授業学修内容	親になるということ6自己決定と他者3レポートの提出		
授業外学修内容	テキスト第7章を読み、章末問題をレポートにまとめる。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	生涯発達の中での「親になること」と共生章末課題を提出する。		
授業外学修内容	テキスト第8章を読み、最終課題をレポートにまとめる。	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	HOE-2-001-j	Subject	The Child and the Family		
Name	後藤 さゆり(Goto Sayuri)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	O As gender equality develops, the birth rate drops, and the population ages, people are examining how the family should be. The problems of people's self-development due to society's personalization are involved in the background. In this course, by paying attention to the association between the family and the changes of the social system surrounding the family, we will review the values and lifestyles associated with the family. Furthermore, as adolescents, we will consider "becoming a parent" and think about the meaning of "becoming an adult" based on the relationship between a person's existence / self generation and other people. This course will contain complex and difficult theoretical considerations. However, we will use a lot of audiovisual materials to enjoy thinking about the content.?				